



園だより

文京区立根津幼稚園



外遊びを楽しんでいます

副園長 野本 和美

寒い毎日が続いています。大人はついつい暖かい部屋から出たくなくなってしまうのですが、子どもたちは毎日元気いっぱい外に飛び出していきます。昨年も感じたことですが、根津幼稚園の子どもたちは、本当に外遊びが好きで、冬でもどんどん外に出ています。小学校の広くて、太陽がたくさん当たる校庭でのびのびと遊べるのが、外遊びをしたくなる要因の一つであると思いますが、何より、担任が、様々な外遊びを提示し、場をつくり、一緒に動きながら子どもたちと気持ちを共有していることが、外遊びを楽しく充実したものにしていると思います。どんな外遊びをしているか、写真とともに、いくつか紹介したいと思います。

りす組が教師と鬼ごっこをしています。逃げたり追いかけたりしながら校庭を隅から隅まで走っています。この広さで思いきり走ることができるのも、根津幼稚園ならではのです。



はな組が転がしドッジボールをしています。相手を見ながらボールを転がしたり、当たらないようによけたり、ジャンプしたりしています。繰り返す中で素早くボールをよけられるようになっていきます。一斉活動で経験した後は、好きな遊びでも楽しんでいます。



ほし組が「10分チャレンジ」(毎日、自分の挑戦したいことを選び、自分なりに目的を設定して取り組む時間)をしています。日々繰り返すことでできるようになっていくのは、とても素敵なことです。



一輪車
羽根つき
ホッピング
ぼっくり
などなど

外遊びで体の様々な部位を動かすことで、体力がつき体幹がしっかりとってきます。幼児期に運動遊びを積み重ねることはとても重要です。これからも、日頃から様々な動きを経験できる環境を作っていきます。写真のように、たくさん体を動かしていると体がポカポカしてきます。今後も、脱ぎ着がしやすい洋服、靴下の習慣を続けていただければと思います。